

校正ノート

No.13
2015.11

晃南印刷株式会社
プリプレス部
校正担当／中里（内線301）
制作／竹沢（内線305）

ありがとう
80周年に感謝



● カレンダーの六曜

カレンダーの名入れ、制作が増えてくるこの時期、来年のカレンダーで注意することは、祝日が一日追加されること。8月11日の「山の日」で、制定の趣旨には、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」とある。

カレンダーには、玉（日付の数字のこと）のみと玉の横にいろいろ文字が書き込まれているものとさまざまな形があるが、書き込まれているものは暦注と呼ばれるもので、代表的なものは六曜である。六曜とは、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の六種、その日が縁起の良い日か悪い日か気になるときに見ることになる。

先勝（せんしょう・さきかち）…………先んずれば即ち勝つ。午前中は吉、午後2時～6時は凶

友引（ともびき）…………凶事に友を引く。朝は吉、昼は凶、夕は大吉。ただし葬式を忌む

先負（せんぶ・さきまけ）…………先んずれば即ち負ける。午前中は凶、午後は吉

仏滅（ぶつめつ）…………仏も滅するような大凶日。何事も遠慮する日、病めば長引く、仏事はよろしい

大安（たいあん・だいあん）…………大いに安し。何事においても吉、成功しないことはない

赤口（しゃくく・しゃくこう）…………万事に用いない悪日、ただし法事、正午だけは良い

※六曜の読み方には様々あり、代表的なものをあげた。

それぞれの意味は

この順番で繰り返し現れてくるが、途中旧暦のついたちは決まっていて、

一月・七月…先勝、二月・八月…友引、三月・九月…先負、四月・十月…仏滅、五月・十一月…大安、六月・十二月…赤口となる。

● 文化庁 平成26年度版「国語に関する世論調査」から

慣用句等の意味・言い方について、どちらの意味だと思うか、との問い合わせ、（○…正解 ×…誤答）

(1) おもむろに ○ゆっくりと 44.5% ×不意に 40.8% 正誤の割合がやや拮抗している。

(2) 枯れ木も山にぎわい ○つまらないものでも無いよりはまし 37.6% ×人が集まればにぎやかになる 47.2% 誤答率が多くなっている。10年前の調査と比べると12ポイントの増加。

(3) 小春日和 ○初冬の頃の、穏やかで暖かな天気 51.7% ×春先の頃の、穏やかで暖かな天気 41.7%

(4) 天に唾(つば)する ○人に害を与えるとして、結局自分に返ってくるような行為をすること 63.5%

×自分より上位に立つような存在を、冒し汚すような行為をすること 22.0% 正答率が多い。

他に、「年賀状などにおいて、印刷されたものと手書きが加えられたものどではどちらが良いと思うか。」との問い合わせがあるのだが、「手書きされたものや手書きが一言加えられたもの」と答えたのが87.6%と高い数字になっている。



言の葉
ひらり

同音異義語・同訓異義語の使い分け、似た言葉で間違いややすい使い方等、校正中これでいいのかともやもやした気持で仕事を進めると後味が悪い。調べると宙に舞っていた言の葉の意味がひらりと掌に落ちて、すっきりする。

「配布」と「配付」

「配布」は、多くの人に行き渡るように配ること。「街頭でチラシを配布する」

「配付」は、一人一人に配って渡すこと。「資料を配付する」 ※法令では区別せず「配布」を使う。

11月歳時記

3日(火) 文化の日…………日本国憲法が公布された日。日本国憲法が平和と文化を重視しているということから

8日(日) 立冬…………二十四節気の一。冬の始まり。木枯らしの季節到来

11日(水) 介護の日…………「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」の「いい日、いい日」から

15日(日) 七五三…………子の成長を感謝、将来の幸福と長寿を祈る

23日(月) 勤労感謝の日・小雪……「勤労を尊び、生産を祝い、国民が互いに感謝し合う日」。
しようせつ：二十四節気の一。紅葉が散り始める。冬の備え

一葉忌：樋口一葉…………明治の空気を伝える雅俗折衷体が魅力的

25日(水) 覆国忌：三島由紀夫……『近代能楽集』で能を世界に紹介

●木枯し……凧とも。凧は国字、日本でつくられた漢字。

●新嘗祭（にいなめさい）……11月23日に戦前宮中で行われていた儀式。天皇がその年の新穀を神に供え、感謝し、自ら食した。戦後廃止され勤労感謝の日となる。

●小雪……「こゆき」と読むと気象用語。1時間あたりの降水量が1mmに満たない雪。

竹沢メモ

先日、群馬県にある館林美術館へ彫刻家の舟越桂さんの個展「私の中のスフィンクス」を行きました。木彫りの彫刻と大理石で造られた瞳がとても印象的で、不気味だったり温かみがあったり、どこか不思議な作品が多くて面白かったです。不思議なのは大理石で造られた瞳と目が合う事はありません。それには理由があるのですが、12月6日まで開催中のようですが是非体感しにかけてみてください！